

学びの広場

松田スポレク祭は10月8日(月・祝)

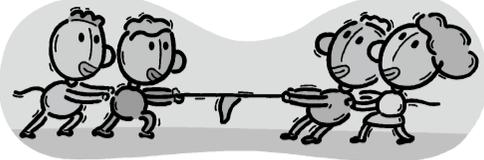
～町ぐるみでスポーツ 地域コミュニケーションを～

毎年、体育の日に開催される「松田スポレク祭」が、今年も松田中学校グラウンドなどで開催します。

第6回松田スポレク祭は、主催の松田町体育協会と今年3月に設立した総合型地域スポーツクラブ「松田☆ゆい☆スポーツクラブ(旧・松田町スポーツを楽しむ会)」が共催して開催します。

町内の各種スポーツ団体をはじめ、福祉団体などにも協力していただき、町ぐるみのスポーツイベントとして盛大に開催されますので、お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

今年の松田スポレク祭は、「スポーツを通じた地域コミュニケーションの形成」をテーマにしています。スポーツは、世代や性別を超え、楽しみながらコミュニケーションが図られる場です。今年のイベントの内容は、このような場が増えるよう、子どもから大人まで、全ての町民が楽しめる種目を行います。



大人が夢中になれば、子どもは夢中になれる。夢中になれば、皆が笑顔になれるはず。



リレーのバトンは、お互いの気持ちが通い合わなければ、うまくはいかない。松田スポレク祭で、地域住民同士のバトンをつなげよう。

例えば、玉入れ、綱引き、だるま送りなど、昔の町民体育大会のような地域の人々が一つの行事に夢中になれるイベントになるよう企画されています。詳細は、9月15日に各世帯に配布したチラシをご覧ください。なお、運動するのは体力的に難しいと思う方も、このイベントを見たり、応援していただくことが参加者への励みになり、地域の話題の一つになるのではないのでしょうか。さまざまな模擬店や恒例の大抽選会などもありますので、ご来場お待ちしております。

小学生チーム奮闘

～町民親睦バレーボール大会～

今年のスポーツ大会は、全て親睦を目的としたスポーツ大会となっています。8月19日(日)に開催した町民親睦バレーボール大会では、初めて小学生女子バレーボールチーム「松田ベリース」が指導者と共に参加しました。

松田ベリースは、今年の小学生の地域予選を勝ち抜き、見事、県大会に出場するなどチームも好調。この親睦バレーボール大会では、大人たちのチームから数セット取るなど、会場を大いに沸かせてくれました。



健闘した「松田ベリース」のみなさん

第39回 町文化祭(きて・みて・ふれあう)

10月27日(土)～28日(日) 今年も芸能発表など3部門で構成

町文化祭は、町民の皆さんの多様な文化活動成果の発表の場として、昭和49年から開催し、今年で39回目となります。昨年度は600人の入場があり盛会となりました。

今年も、展示、実演、芸能発表の3部門で構成され、主な内容は下段のとおりです。

今年度、芸能発表の部で初参加の団体は、「アンサンブル花音(バイオ)



リン」と「太極拳西湘サークルまつだ」の2団体です。お楽しみください。

【展示の部】27日・28日

- 〔1階展示ホール〕
- ・生け花 ・俳句 ・書道 ・額絵
- ・編み物 ・絵手紙 ・吊し雛
- ・レザークラフト ・工芸品
- 公民館教室作品
- ・ハワイアンキルト ・染め物
- 〔3階〕
- ・立花愛児園児作品
- ・町立幼稚園児作品
- ・町立小中学生作品

【実演の部】27日・28日

- 〔1階ホワイエと3階和室〕
- ・茶道 ・絵本の読み聞かせなど

【芸能発表の部】28日

- 〔ステージ〕
 - ・約18団体の発表
 - ・町立小中学生合唱・吹奏楽
- 今年も家族や友達と誘い合ってのご来場お待ちしております。

大名行列の伝承

8月25日(土)に開催された観光まつりの大名行列で、幼稚園児・立花愛児園児、小学生、中学生がそれぞれの発達段階に応じた演技を披露してくれました。

中学生は平成6年、幼稚園児・立花愛児園児は12年、小学生は22年からバレードに参加しています。今年度は、中学生の「民俗芸能伝承教室」・大名行列奴(やっこ)ぶりの練習で、松田中学校には特段のご協力をいただきました。



練習の成果！中学生の大名行列

今後も、幼稚園・保育所・小学校と連携し、大名行列の伝承に力を注ぎたいと考えています。

庚申塔

干支で庚申にあたる夜(六十日ごと)に一度来る)には、眠っている間に人間の体内にひそんでいる三尸(さんし)という虫が天に昇って、天帝にその人間のなした悪口を告げ口し、命を縮めるといいます。それを防ぐため人々は、その日夜通し眠らずにいて、つるむ話をし、また、飲食をして過ごします。これを庚申待ち(庚申講)といい、庚申塔を祀ります。

松田の文化財探訪

《歴史的建造物》その3 町文化財保護委員 平賀康雄

この行事も第二次大戦もしくは昭和三十年代を境に大方は消滅してしまいましたが、(松田町も同様)形態としては、文字で庚申塔などと刻んだ石塔、次いで憤怒相の青面金剛像を浮き彫りにしたものも多く、一部山王権現を主尊とするものもあります。庚申塔は石仏類の中では三番目に多いのですが、当町には



①桜観音庚申塔



③延命寺山王権現塔



②旧町屋公民館前青面金剛像

十数基あるのみです。特筆すべきものを挙げると、庶子の桜観音境内にある唐破風笠付きの塔は、寛文十年造立で当町最古、西相模では最大級(総高二〇五寸、写真①)の庚申塔であり、町屋公民館前の青面金剛像は彫刻の際立った秀作(延享五年造立、写真②)、延命寺境内にある山王権現塔(写真③)も庚申塔の部類に入ります。神山地区阿弥陀堂境内のものは、舟形石に聖観音像が浮き彫りされた足柄近辺ではまれな形の庚申塔です。寄地区福昌院境内のものは、正面「庚申塔」、右側面「堅牢地神」、左面「馬頭観世音」と刻し、三神仏を兼ねて祀る、これまた変則的な塔(享和三